

新・屋根雪下ろしの重要ポイント(1)

1. 屋根にキズ・穴を空けないように注意する(空けたらおしまい)

屋根はアルミスコップで降ろす(鉄に比較し柔らかく、軽いのでダメージが少ない)
逆にアルミスコップは弱く簡単に曲がるので通常の固い雪かきには使用しない。
屋根専用とし、混同しないように分けておくこと(A)

2. 屋根に直接登らないこと。雪崩に注意する

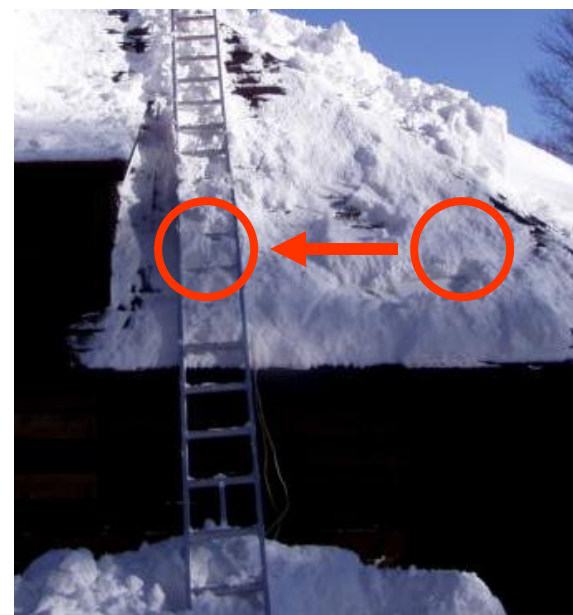
表面が大変滑りやすいので梯子を掛けて作業する。今の屋根は平滑なので、何時落ちててもよいように角端から縦方向に順に降ろすこと(B→C)



A:アルミスコップ専用置き場



B:最初は角端から上へ

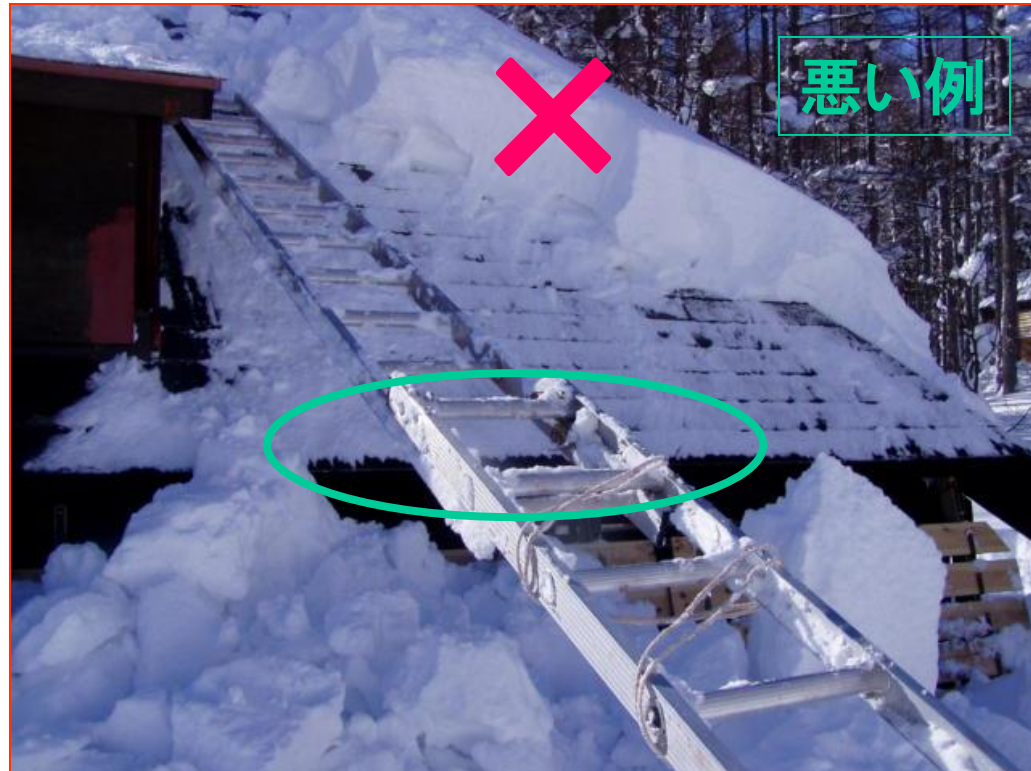
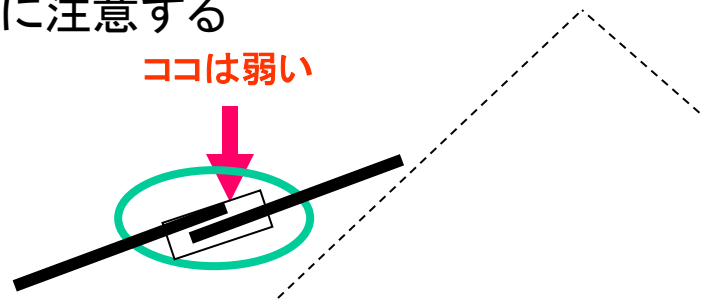
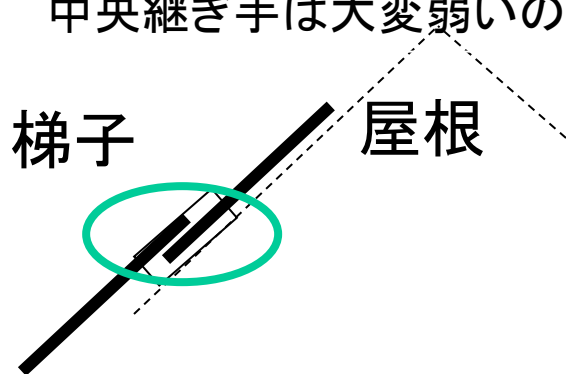


C:次第に中央へ

新・屋根雪下ろしの重要ポイント(2)

3. 梯子を曲げないこと

中央継ぎ手は大変弱いのでかけ方に注意する



D:梯子中央継ぎ手は屋根にぴったり付ける

E:ダメな例・浮かせて乗ると簡単に曲がってしまう

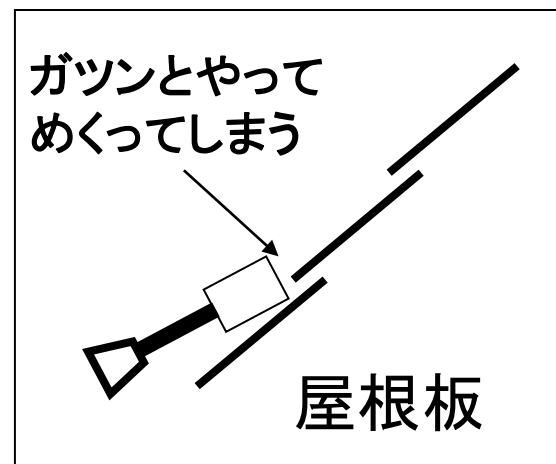
新・屋根雪下ろしの重要ポイント(3)

4. 屋根にキズ・穴を空けないように注意する(その2)

屋根の雪は少し残しておく。この方は屋根も傷めないし、作業上も滑りにくい(F)。段差屋根になったので下からスコップでガツンといためないように(G)



F: 屋根を傷めないように少し雪を残す(東屋根)。後は自然に融け落ちる(南屋根)。



G: スコップの使い方要注意。